

株式会社ジェイコムイースト 秦野・伊勢原局
2013 年度(平成 25 年度) 放送番組審議会 議事録

2013 年度(平成 25 年度)の放送番組審議会は、2014 年 3 月 11 日(火)に伊勢原市で開催された。

＜放送番組審議会委員＞ (五十音順)

岡 本 寿 美 雄 様 栗 原 政 男 様 辻 雅 弘 様
中 野 貴 之 様 正 岡 義 海 様

委員の自己紹介後、事業者側から局の現況報告及び J:COM チャンネルの報告があった。

【質疑応答、意見交換】

(夏のイベント取材)

委員 伊勢原では、8月に夏祭りイベントが多くあるので、番組取材をお願いしたい。
特に商工会の青年部では、大納涼祭りが行われる。このイベントは、40回近く開催しており、地元の子供たちにも慣れ親しんでいただいているイベントなので、J:COMチャンネルでPRをお願いしたい。

(商工会活動の取材、防災無線連動サービスについて)

委員 商工会の事業情報を提供させていただくので、J:COM で取捨選択して、番組で取上げていただきたい。秦野商工会青年部では、子供たちに町の工場を知ってもらう活動を行っており、これらもテレビ放送を通して、市民にも広く認知していただきたい。

防災無線連動サービスは、外で流れる情報と同じものが自宅で聞こえるのか。

緊急情報以外の情報が毎回、自宅で聞こえるのでは、邪魔になるのでは。

事業者 ご指摘の通り、外のスピーカーで聞こえるのと同じ情報が、自宅内でも聞こえるサービスである。緊急性の高い情報は、音量が大きいですが、そうでない情報は、音量を下げる事が可能である。

機器にはグループ分けの設定ができ、例えば「自治会」というグループの中で、自治会長の自宅だけに防災無線室から呼びかけることも、機能的には応用可能である。

(「Jテレ」10chでも情報発信を)

委員 取材をしていただく際、市民からもJ:COMチャンネルの番組を視たいという意見をよく聞く。1日も早く、市内全域に視聴エリアが広がるようにして配慮してほしい。

地域活性イベントを取材していただいているが、市のイベント情報は、市外、県内、全国にPRしていきたい。11chだけでなく、全国放送のJテレ(10ch)においても、短い時間でも取上げていただければ有難い。

(記者クラブ情報の番組発信、庁舎内でのDVD番組視聴)

委員 地元の話、テーマは、市民からもたいへん関心がある。J:COMに加入された方からは、広報にも市民の声さまざまな寄せられている。定量的な情報提供は、記者クラブを中心に発信しているが、地元メディアということで、紙媒体の「タウンニュース」を含め、提供の仕方を再考して、J:COMの番組内でも発信してもらいたいと考えている。その際、一緒に検討させてほしい。

庁舎内で3台のテレビがJ:COMに加入しているが、1階ロビーで、市の情報を取上げた番組をDVDで、一定期間繰り返し放映したいと考えている。

例えば、祭りの開催前であれば、昨年放送した特番を放映することで、イベントPRとともに番組告知にもつながるのでは。

事業者 番組を庁舎内でDVD放映する場合、出演者と音楽の権利処理がクリアになれば、対応可能である。別途、検討させてほしい。

(災害情報、公開討論会の放送化)

委員 先日の大雪時には、民放では広範囲の情報伝達となるが、通勤する道路の状況はどうなっているかなど、ピンポイントでの地元情報提供には、J:COMチャンネルは有効である。

青年会議所の働きかけで、何年か前から、首長選など立候補者による公開討論会を実施している。最近の政治離れ、若者の投票率の低下が叫ばれているが、公的な役割として、こうした公開討論会をJ:COMで放送してもらえないか。

事業者 公開討論会は、他局でも放送した実績はある。但し、告示前での放送が必須条件となる。告示直前に放送するケースが多い。討論番組は、容易に生放送できない部分もあるため収録放送とさせていただくことが多い。

以上